

## 地域連携室だより コメント

■ 吉野 美佐 (よしの みさ)  
医療福祉相談室 室長7月より室長が  
「吉野美佐」に変更になりました

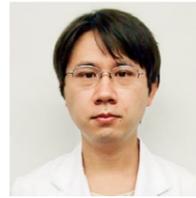
「相談室」は4月より「医療福祉相談室」と「心理相談室(新設)」に機能を分け、より充実した支援体制を整えてきました。経済的な負担や、介護、住まいについてなど、療養にあたる患者様、ご家族の悩みは深く多様です。私たちは、医療スタッフと連携し、地域で安心して、その人らしく、豊かに暮らす権利を守るお手伝いを心がけています。地域の声に応えられる相談室でありたいと思います。まずはお気軽にご連絡ください。



■ 齊藤 悠一 (さいとう ゆういち) 医師

はじめまして。1年目研修医の齊藤悠一です。出身大学は山梨大学で、それまでは千葉の習志野市に住んでいました。中学は野球部、高校・大学はラグビー部に所属していて、常に部活中心の生活を送っていました。部活はつらいことが多かったですが、終わってみれば中の良い友人もできましたし、まあ、やめずに続けてよかったかなと思っています。甲府共立病院のことを始めて知ったのは大学6年のときでした。病院のスタッフ全員が「患者さんにとって何が一番良いか」ということを真剣に考えているのを目の当たりにして、僕もここで働いてみたいと思い、研修することを決めました。

研修を始めて2ヶ月が経ちましたが、日々、失敗→へこむ→反省→元気というサイクルを繰り返す毎日です。しかし、そんな僕にも「ありがとう」といってくれる患者さんがいてくれて、とても勇気付けられています。早く一人前になれるよう精一杯努力していきますので、どうぞよろしくお願い致します。



■ 良雪 雅 (りょうせつ まさし) 医師

後期研修医1年目です。出身は岐阜県、三重大学を卒業し、東京の都立広尾病院で2年間の臨床研修を終えた後、総合医として4月からお世話になっています。山梨は多少の縁もあり、地域医療を学びたいという希望があり転職して参りました。東京の都心部の病院とは地域性も、医師としての仕事内容も大きく異なり日々戸惑いながらも、勉強しております。私は「里人やまなし」という山梨の地域医療を学ぶプログラムの第一期生として、半年間こちらで研修させて頂いており、医師として患者を「診る」ことと同じく、あるいはそれ以上に、地域社会を「見る」ことを自身のアイデンティティとして活動をしていきたいと思っております。不慣れのためご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。



■ 長田 忠大 (おさだ ただひろ) 医師

北海道大学医学部平成11年卒業後、北海道大学第一外科に入局しました。関連病院を中心に14年間道内・道外の病院に勤めておりました。4年前から前任地の網走厚生病院で勤務し、腹腔鏡手術、化学治療、緩和医療を中心に行ってきました。高齢者のがん患者が多く、外科だけでなくもう一回り大きな「全人的医療」を行っていきたく強く思うようになりました。共立病院では、外科だけでなく、緩和ケア・訪問診療等にも携わって行きたいと考えております。よろしく申し上げます。

## 地域連携室より

平日のご紹介は、すべて「地域医療連携室」に事前にお電話でご連絡をお願いしております。

## ■ 診察依頼の場合

平日・時間内は、甲府共立診療所で診察を行います。但し、ADLの状況や病態によっては、甲府共立病院で診察を行うことがあります。

## ■ 入院相談依頼の場合

可能な限り入院ができるようベッドを調整しております。スムーズな入院受け入れのため、以下のような情報をお尋ねしますのでご了承ください。

- 1 患者様の名前
- 2 生年月日
- 3 病名(必要なデータなど)
- 4 ADL状況
- 5 認知症の有無

ご紹介をいただき、入院される方の入院までの流れは以下のようになっています。

- 1 地域医療連携室で、受け付けをします。保険証・紹介状をご提示下さい。
- 2 紹介外来担当医師の診察を受けます。
- 3 患者様と相談の上、入院の具体的な内容を確認します。
- 4 看護師より、入院の説明・必要な処置を受けます。
- 5 入院病棟のベッドが用意できるまで、お待たせする事があります。

先生方のご理解、ご協力に大変感謝しております。  
今後ともよろしくお願いいたします。



## ご挨拶

平素より入院患者様のご紹介等、ご支援、ご協力に感謝いたします。地域連携室報発行にあたり、ご挨拶を申し上げます。

当院は今年度の重点課題として、①病診連携のさらなる推進、②医師の養成、③新南館の建設を挙げています。

病診連携につきましては、これまでも甲府共立診療所外来の患者様、甲府共立病院退院患者様を地域の先生方に診ていただいておりますが、今年度は更にこの方針をすすめていく所存です。

今年度、甲府共立病院の医師臨床研修は、新卒者が1名入職し、2年目を含めて4名が初期研修に励んでいます。また、後期研修は、山梨の地域医療の担い手を養成する研究会・通称「里人やまなし」の後期研修プログラムに応募した研修医1名を加えて、5名が研修を行っています。数多くの山梨での第一線医療、地域医療を担う医師の養成に全力をあげていきます。

新南館建設は、本館南側の別館、南館の跡地に建設し、耐震性を強化した建物に透析室、健診センター、医局等が入居します。来年9月の竣工まで、ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

今後とも、皆さまとともに、地域医療を発展させていく決意です。ご指導、ご鞭撻よろしくお願いたします。

2013年7月  
甲府共立病院  
院長 大畑和義

### 超音波新規項目検査

## 肝硬度・脂肪量測定検査(フィブロスキャン)ご案内

### 『肝臓の硬さ』と『肝脂肪の量』を同時に計測できる装置 フィブロスキャン導入

当院の生理検査室では、肝臓の硬さと脂肪量を非侵襲的に超音波を用いて計測でき、客観的・定量的な評価のための情報が提供できるようになりました。

体を傷つけることのない非侵襲方式のため、出血の心配がなく従来の検査のような入院の必要がないため、外来での検査が可能となります。

- 検査対象は**
- ①肝臓の硬さと肝脂肪に(C型肝炎と肝脂肪化に)
  - ②単純性脂肪肝とNASHの鑑別の一助に
  - ③うっ血肝など肝線維化の程度を診断するために
  - ④肝がんの検診に(フィブロスキャン測定値と肝がんリスクの予測に)など疾患は特定されず幅広くご利用頂けます

**検査結果は** 肝臓の硬さをキロパスカル(kPa) 脂肪量測定値CAP(db/m)としてその場でリアルタイムに表示します

**検査時間は** 痛みもなく短時間で計測可能で計測に要する時間は10～15分程度です。



連絡先: 甲府共立病院 生理検査室  
Tel 055-226-3131(代表)

## 第9回 赤ちゃん同窓会がありました

甲府共立病院で出産されたママ&パパと赤ちゃんを対象に6月29日、「赤ちゃん同窓会」を開催しました。今回で9回目となり、赤ちゃんを含め総勢100名近くの参加がありました。小児リハや友の会、ぬくもりの会、ナースクラブの方々に協力していただき、ベビーマッサージや遊び、交流会などを行い賑やかで楽しく充実した時間を過ごすことができました。ご協力ありがとうございました。



一緒にの時期に出産したお母さんや赤ちゃんに会えてうれしかったです。



みんなかわいいね～



大きくなったね



とんとんとん  
アンパンマン



きもちいいね～♡



お久しぶりで～す!

